

令和6年第8回（8月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年8月22日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 第2別館 会議室2

3 出席委員 職務代理者 竹田佳枝 委 員 中村真也
委 員 河村芳高 委 員 末永育恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤山雅之	教育次長兼教育総務課長	矢野徹
学校教育課長	山本敦士	埴生幼稚園長	福間久美子
学校給食センター所長	吉村匡史	社会教育課長	山本修一
中央図書館長兼厚狭図書館長	山本安彦	歴史民俗資料館長	若山さやか
小学校長会長	下瀬昌巳	中学校長会長	安田尚弘
書記	野原嵩恵		

6 傍聴人 0人

7 議事日程

(1) 開会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報告

(4) 休憩

(5) 議事

- ① 議案第19号 中学校において令和7年度から使用する全ての教科用図書の採択について (学校教育課)
- ② 報告第10号 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について (概要) (学校教育課)

(6) その他

- ① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)
- ② 市職員の人事について (教育総務課)
- ③ その他

(7) 閉会

開 会

○竹田職務代理者

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による8月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○竹田職務代理者

会議録署名委員の指名をいたします。中村委員、河村委員よろしく願います。

会議非公開の決定

○竹田職務代理者

本日の議事「議案第19号 中学校において令和7年度から使用する全ての教科用図書の採択について」は公開することにより、教育行政の公正且つ適正な運営に著しい支障を及ぼす恐れがあります。また、日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思えます。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。

賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○竹田職務代理者

報告事項に入ります。まず各課からの報告をお願いいたします。

藤山教育部長、お願いいたします。

○藤山教育部長

はい。私の方からは、引率者として参加しました中学生海外派遣事業について報告をいたします。

令和6年7月31日、ついにオーストラリア モートンベイ市への出発の日がやってまいりました。8名の生徒を海外で引率するという大きな責任を感じ、緊張しながら当日を迎えましたが、厚狭駅に集合した生徒たちが「行ってきます！」と笑顔で保護者の方に手を振っている様子を見て余計な力が

抜け、みんなが元気に帰って来ることができるよう私にできることをしようと思いました。

厚狭駅を出発して約17時間後、ブリスベン空港に到着し外に出たとき、冬の朝の凜とした空気が、日本の厳しい暑さから一転、新境地に来たことを実感させてくれました。モートンベイ市に到着してからは、派遣生徒はホストスクールでクラスメイトの一員として授業を受け、またホームステイ先では家族の一員として生活を送ることとなりましたが、ほとんど日本人しかいない環境から、ほとんど日本人がいない環境で生活様式や価値観も異なる生活に変わり、日本との違いに驚いたり、自信を持ち始めた英語が使えなかったりと、厚狭駅を出発する前の笑顔が見られなくなった生徒もいました。そんな生徒も、「買い物をしたと言ったら、ホストファミリーが連れて行ってくれた。」という話を他の生徒から聞いて、自分の方から関わらなければいけないと目覚めたように感じました。そして、いつしか派遣生徒は話しかけること、つまり「関わること」が正しい英語を話すことよりも心が通じ合うために大切であり、同時に言葉の向こうにある大切なものを実感として気づいたようでした。

今回の海外派遣に向けて、生徒たちは、「英語で話す」準備をしてきたと思いますが、グローバルな視点に立って考えるとき、「英語力」も必要ですが、真に最も必要な力は、現地での生徒の様子を見ながら教えられました。言葉は「人」次第で変わる。どんなに語学力が高くても、相手を理解しようとしなければ、関わろうとしなければ、よりよいコミュニケーションを図ることはできないと思います。今は翻訳機やパソコンがあれば、あらゆる言語に機械が翻訳してくれる時代です。恐れずにチャレンジする気持ちや、自分の考えをしっかり持つことこそが、生活様式や価値観を異なる「人」を理解するために不可欠であることを、生徒たちも、この10日間の体験を通じて実感できたようでした。

コアラは生息しているオーストラリアで見るからこそ価値があると思います。同じように外国の方と話したり、文化を学んだりすることは、日本で書物やインターネット等を通じて学ぶより現地で学ぶからこそ、感じたり、分かったりすることがあると思います。そのような意味において、今回の派遣生徒8名だけでなく、私自身にとっても貴重な経験となり、いい思い出となりました。

私のたった一つの心残りは、これは帰国して友人にお土産を持って行ったときに気付かされたことなのですが、南半球にある国のシンボリック的存在である南十字星を、オーストラリアの夜空に美しく輝く南十字星を見ることをしなかったことだけです。

今は無事に派遣生徒をご家族のもとへ帰すことができ、ほっとしています。生徒の成長を間近で見ることができて、光栄でしたし、自分の仕事のモチベーションに繋がりました。オーストラリアで見えてきたこと、感じたことを、今後の業務に活かしていきたいです。これからモートンベイ市と山陽小野田市の関係を繋げていくには、モートンベイ市の魅力をより多くの方に知ってもらうことが大事であり、私もその魅力を伝える一人になりたいと思っております。

最後に、温かく迎えて下さったモートンベイ市の皆様、派遣生徒のみなさんと、生徒を預けていただいた保護者の皆様、本事業に参加するにあたり快く背中を押していただきました、長友教育長と教育委員会事務局の皆様、派遣事業を実施していただいた市民活動推進課の皆様ほかこの事業を支えてくださった皆様に感謝を申し上げまして私の報告といたします。

以上です。

○竹田職務代理者

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○竹田職務代理者

河村委員。どうぞ。

○河村委員

はい。これは非常にいいことだと思うのですが、青少年の交流ということで、交換とは何ですか。例えば、モートンベイ市からこちらの方にとか。

○藤山教育部長

そうですね。以前はモートンベイ市の方から、正確にはレッドクリフ市になりますが、生徒がこちらの方に来られたときもあったのですが、今はモートンベイ市には交換留学を行う条件がありまして、その条件に達していなくて今中断しております。やはりとてもいい事業だと考えておりますので、何とか今後やっていけるように、市長部局と一緒に先方の方に投げかけたいと考えております。

○河村委員

そうですね。なるべく再開した方がいいような気がしますね。

○藤山教育部長

そうですね。

○竹田職務代理者

その他ございませんか。

それでは矢野教育次長兼教育総務課長、お願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。私からは2点報告させていただきます。

まず、教育委員会が共催又は後援する行事についてです。一覧表をお配りしております。両面の資料になりますが、そちらをご確認ください。こちらは、7月17日から8月20日までの間に、学校教育課、社会教育課において後援を承認した一覧になります。こちらにつきましては、ご確認くださいだけだと思います。

2点目です。「赤崎小学校松原分校の閉校について」でございます。

こちらについて資料として、タイトルが「赤崎小学校松原分校の閉校について」ということでお配りしておりますので、こちらをご覧いただきながら説明をさせていただきたいと思っております。

赤崎小学校松原分校、竜王中学校松原分校は、昭和38年6月に赤崎小学校の空き校舎を利用し、市内の特殊学級、当時はそのように呼ばれていました学級を集めた「小野田養護学園」として開園して以来、途中、昭和46年12月に赤崎小学校松原分校、小野田中学校松原分校と改称し、昭和47年には現在の校舎が建築され、平成10年に竜王中学校松原分校と改称して現在に至るまで本市の特別支援教育を担ってきた学校です。

同じ障がいがある児童生徒がともに学校生活を過ごす中で、将来の自立と社会参加に向けた子どもたちの成長に寄与してまいりました。

平成18年に国連総会において、「障がい者の権利に関する条約」が採択され、平成20年に発効されました。共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システムの理念が重要であって、その構築のため特別支援教育の推進が求められるなか、本市においては、平成27年度から小野田地域の5小中学校（有帆小、高千帆小、須恵小、高千帆中、小野田中）に知的障がいの特別支援学級を設置しました。

平成31年2月に教育委員会、竜王中学校松原分校、赤崎小学校松原分校、松原分校学校運営協議会及び松原分校育友会の5者で「松原分校の閉校に関する合意書」を締結し、その後、令和2年4月

以降は小学部への赤崎小学校区以外の受入れを停止し、令和5年4月以降は中学部への小学部の卒業生を除く竜王中学校区以外の校区からの受入れを停止しています。

令和7年度以降、必要に応じて赤崎小学校に特別支援学級を設置することとして、令和6年度末、令和7年3月をもって小学部を閉校し、遅くとも令和9年度末、令和10年3月をもって中学部を閉校することとしています。中学校も同様に、必要に応じて竜王中学校に特別支援学級を設置することとしています。その際には 基礎的環境整備、例えば施設設備の整備、専門性のある指導体制の確保や教材の確保が必要となりますが、その整備に努めてまいります。

説明は以上となります。

○竹田職務代理者

ただいまの報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

すみません。少し補足をよろしいですか。

○竹田職務代理者

はい。

○矢野教育次長兼教育総務課長

これを受けまして、議会や地域には、丁寧に説明を進めてまいりたいと考えております。以上です。

○竹田職務代理者

はい。よろしく願いいたします。

それでは山本学校教育課長、お願いいたします。

○山本学校教育課長

はい。学校教育課からご報告させていただきます。

夏休みも残り約1週間程度となりました。これまでにない暑さで、熱中症の心配もされたところでしたが、現在のところ大きな事故や事件もなく、ほっとしているところです。最後まで気を緩めることなく充実した夏休みを過ごしてくれることを願っています。

さて、学校教育課からは、5点ご報告します。

各小中学校では、9月1日の2学期の始業に向けた準備を行っています。例年であれば、中学校を中心に9月10日前後に体育祭を実施していましたが、熱中症対策として、小学校及び小中一貫校はすでに5月に実施をしています。中学校4校は9月21日（土）、埴生幼稚園は28日（土）、松原分校は10月3日（木）に午前半日日程で実施する予定となっています。

2点目は、8月5日に実施された中学生議会です。中学校6校から各校2名の議員と、厚陽中学校と埴生中学校の代表者各1名が、議長を務めました。市内の活性化や定住促進対策、防災対策や交通安全対策、より快適な中学校生活など、中学生の視点からさまざまな提案や質問がなされ、生徒一人一人が本市に愛着を持ち、街づくりを真剣に考えていることが伝わりました。市の執行部からも生徒たちに寄り添った回答があり、生徒たちは、自分たちの提案が取り上げられていることへの満足感を得ているようでした。これを機会に、さらに生徒たちが本市の未来の担い手として活躍していくことを期待しています。

3点目は、5月の本会においてご報告し、ご意見を頂戴しました「家族でやま学の日」についてです。10月1日からの制度開始に向け準備を進めています。9月の市報や、9月2日の始業式で保護者向けの文書配布等により、周知を行うこととしています。県が作成した本制度のねらいに「やまぐちで学ぶ」「やまぐちを学ぶ」ことで山口への愛着を深めることとあることから、市教育委員会が作

成した活用手引きに、県内で学びを深めることができるサイトの紹介と、二次元コードを入れることとしました。本制度により、子どもたちが主体的に学びを深める日となり、本県への愛着をより深めることに期待をしています。

4点目は、中学校における部活動の地域移行の進捗状況です。5月の本会で、令和6年2月に協議会が発足し、これまで3回の協議会と2回の分科会を開催したことはご報告させていただきました。協議会では、国が当初目安としていました令和8年4月から休日の部活動は、地域へ移行するとの方針に沿って体制整備を進めることを共通理解し協議を進めております。6月以降1回の協議会と分科会、中学生との意見交換、小学4・5・6年生の意識調査を実施しました。中学生にとって部活動は、同じ学び舎で学ぶ仲間と同じ活動をすることで、中学校生活を充実したものとしていることが改めて分かりました。地域移行へととなったときの不安としては、違う学校の人とうまく活動できるのか、誰が教えてくれるのか、場所までの移動などの気持ちがありました。しかし、選択できる種目が増えることや、専門的な指導者から学べるといった前向きな意見もありました。このような子どもたちの期待と不安な気持ちを汲み取りながら協議を進めておりますが、指導者の確保・活動場所の確保・活動予算の確保など課題は山積しています。「地域の子どもたちは地域で育てる」の方針のもと今後も協議を進めてまいります。今後の予定としては、来週26日に第5回の協議会を開催し、中学生の文化・スポーツ活動体制整備基本方針案を作成し、9月1日から1カ月間、パブリック・コメントにより市民から広く意見を頂戴し、年内には基本方針を策定する予定です。

5点目は、教職員の質向上を目的とした研修会の実施です。夏季休業中は、教職員にとって研修のための時間を取りやすいことから、各学校とも様々な分野の研修を組んだり、県や市が実施する研修会に参加したりしています。学校教育課においても、各小中学校教職員を対象とした研修を実施しました。主な研修会をご紹介します。ICTの活用の更なる推進を促すためGoogle for Education社から講師派遣をいただき、7月30日にはパソコン操作、初級・中級者を対象に授業で活用できるアプリケーションについて学びました。また一昨日は、教職員の意識改革を目的に管理職を対象とした研修会を行いました。さらに来週27日には、「未来の体育」と題して東京学芸大学 鈴木直樹准教授を講師にお招きし、「メタバース」分かりやすく言いますと、「仮想空間と現実空間の融合」の体育の授業について考える研修会を開催することとしています。この他には、生徒指導に係る研修会として、「教室マルトリートメント」の著者であり、東京都の高等学校の教員である川上康則氏による講演。山口大学教育学部の宮木秀雄准教授による講演。不登校対策を基本として、いわかね社会福祉士事務所の岩金俊充社会福祉士による講演を行いました。教職員の大量退職、若手の大量採用が続く中、教職員の質向上は喫緊の課題となっています。学校教育課では、今後の学校教育の活性に向けて研修機会を提供してまいります。

長くなりましたが、以上で学校教育課からのご報告を終わります。

○竹田職務代理者

ただ今のご報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

よろしいですか。

○竹田職務代理者

はい。河村委員どうぞ。

○河村委員

中学生議会の件ですが、ウィークデイにされたのですか。時間などは。

○山本学校教育課長

2時間半程度ですね。

○河村委員

それはウィークデイか。

○山本学校教育課長

はい。ウィークデイです。

○河村委員

そうですか。そこに参加できるのは各中学校で選抜された数名ですか。

○山本学校教育課長

2名ずつが議員となっています。

○河村委員

その方が議員代表として、中学校の議員として質問されるのですか。

○山本学校教育課長

そうです。

○河村委員

それ以外の学生が参加するということはないのですか。

○山本学校教育課長

議場の関係上多くの生徒が参加することは難しい状況です。そのため、興味を高めるために本市の6月議会の傍聴をするということに代えています

○河村委員

では、その時に希望者がいれば選抜された数名だけではなくて、傍聴してみたいという学生がいれば傍聴席を開放するのも一つの手かなと思います。

○山本学校教育課長

はい。この様子は、限定公開ですがYouTubeで配信をしておりますので、各学校から見るとも可能でした。

○河村委員

最近ですが、議会を傍聴した学生が「議員がスマホでゲームをしていた。」とYouTubeにあげて社会問題になりましたが、正面からとる中継と後ろから見る中継は違いますよね。議員がどのようなことをしているか。職員がどのような回答をするかなど、興味を持っている生徒もいないことはないと思うので、是非中学生議会被をされるのなら希望者に傍聴席からも見られるように提案してみたいかでしょうか。

○山本学校教育課長

この度私も議場に入ってみましたが、傍聴席はすでに一杯で、登壇する保護者の方が入られていらっしやいました。やはり登壇をされる子どもの様子を見たい保護者の方が一定数いらっしやるな、と感じました。そのような状態になりますと希望の中学生が入られる席はないので、YouTube等活用していただけるといいかなと思っております。

○河村委員

はい。分かりました。

○竹田職務代理者

私から1つお聞きしたいのが、部活動の地域移行会議ですが、こちらは一般公開とか傍聴とかはで

きないのですか。

○山本学校教育課長

公開はしていません。議事録でということになります。

○竹田職務代理者

会議の後に議事録でということですね。

○山本学校教育課長

はい。

○竹田職務代理者

山陽小野田市の場合は、土日のみの取組みからスタートなのでしょう。他市はまた違った取組をされているところもあるので。山陽小野田市の場合は、土日ということなのですね。

○山本学校教育課長

まずは、令和8年4月からは土日、休日については移行すると。ただそこに限ったわけではないので、それまでにスタートできるところはスタートしても良いとしていますし、平日も移行できる場所があれば一緒に考えたいということで進めています。目標は、令和8年4月の土日、休日は守りたいというところは基本方針です。

○竹田職務代理者

ではこの会議の中で、取り組んでみたけれど色々事情があることや、色々なことが起きてくると思うのですが、それもずっと継続して見守っていくという会議になるのでしょうか。

○山本学校教育課長

最終的な会の終着点は難しいと思うのですが、まだ課題が山積しておりまして、分科会でもたくさん課題をいただいています。それを協議会の中で協議をしていくかたちになりますので、もうしばらくかかるのではないかと考えております。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございました。その他ございませんか。よろしいでしょうか。

それでは福間埴生幼稚園長、お願いいたします。

○福間埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。園の様子をご報告いたします。

前期の夏季希望保育を7月31日で終えました。今週月曜日より、後期の夏季希望保育を行っております。夏季休暇中、職員は自己研修に参加し更なる質の向上を目指しております。2学期の準備として、朝・夕の涼しい時間帯に草刈りや環境整備を行い、子どもたちが気持ちよく園庭で遊ぶことができるように整えています。また南海トラフ地震臨時情報に伴い、再度室内や戸外など危険個所がないか確認いたしました。

最後に、9月より園児が1名3歳児クラスの子どもが退園いたします。全園児12名と少なくなりますが、元気いっぱい楽しく過ごしてまいりたいと思います。

以上です。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございます。ただ今のご報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

それでは、山本社会教育課長よろしくお願いいたします。

○山本社会教育課長

はい。社会教育課から3つご報告いたします。

始めに先月お知らせいたしました、県主催の「文化財修理体験講座」についてです。8月3日、畳修理の見学と体験ということで、国の手編み藁床製作の選定保存技術保持者であります、荒川有三さんからご指導をいただきました。市内の他、下関市・山口市・防府市から応募がございまして、当日は11世帯24人の参加がございました。荒川さんから畳の歴史や、手縫いと機械で編んだ畳の違いなどの説明があった後、子どもたちが実際に藁を手にとって菰編みの体験をいたしました。子どもたちからは「難しかった」「手で作るすごさが分かった」など感想があり、夏休みの良い体験になったと思っております。

2つ目は、夏休み「親子木工教室」についてです。こちらは、市青少年育成協議会と地域交流センターが共同で行うものです。今回は、小さな椅子作りに挑戦いたしました。8月17日、厚狭地域交流センターで開催され、1年生から6年生までの親子20組が参加し、2時間をかけて約30ある部品を、金づちと釘を使って椅子を作り上げました。子どもたちは、普段使い慣れてない金づちに戸惑う様子も見ておりましたが、最後は立派な椅子が完成し、自慢げな様子でした。私が驚いたのが、1年生から6年生までの全員が見本通りの椅子が出来上がったということです。これにつきましては、保護者の方のご支援があったということもございしますが、市青少年育成協議会会長・委員の皆様の事前の準備と当日の丁寧な指導があったおかげであると感じております。この催しはこれまで、高泊・高千帆・小野田で実施され、今週末、出合地域交流センターで行われる予定となっております。

最後に、社会教育主事講習についてです。7月20日から8月11日まで、九州大学で実施され私が受講してまいりました。社会教育主事が多様な主体と連携・協働して学習を支援し、その成果を地域づくり・街づくり・人づくりに繋げる中核的な役割を担うことを学んできました。今回、山口県の他、福岡・佐賀・長崎・大分県から集まった受講生77人との横のつながりができたことが、何よりの財産になったと感じております。今回学んだことを今後の業務に役立ててまいります。

私からは以上です。

○竹田職務代理者

はい。ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんでしょうか。

社会教育主事さんは、全部で何人になられたのですか。

目標があるのでしょうか。なかなか大変な研修だと伺っているのです。

○山本社会教育課長

教育委員会に社会教育主事を設置するという義務がございます。今実際に教育委員会には1名おります。それと、派遣社会教育主事といって県から派遣されている先生がおりますので、合わせて2名という体制でございます。この講習につきましては、例年予算化されておりますので、毎年2名程度受講するようになると思いますので、傾向としては今後増えていくであろうと思います。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

それでは山本中央図書館長兼厚狭図書館長、お願いいたします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。中央図書館からご報告申し上げます。

市立図書館関係資料をご覧いただけたらと思います。中央図書館《7月・8月行事報告》についてですが、表に※印がついていますが、※印については、今年が図書館100周年ということで、そちらに関連して記念行事を行うということで※印をつけております。7月21日は「フルーツとピアノのサマーコンサート」を行いました。「随筆カフェスペシャル～百花繚乱珠玉のエッセイ～」を7月

27日に行っております。8月に入りまして、「詩～ポエム～カフェ スペシャル」が行われました。そして、8月10日には「児童文学わいわい講座スペシャル」が、そして8月18日、図書館創発会議主催になりますが「追い込みスペシャル！夏休み宿題！？ラストスパート!!大作戦!!」を行いました。8月21日「乳幼児おはなしの会スペシャル」を開催いたしました。裏側の《8・9月行事予定》をご覧くださいけたらと思います。今週の土曜日、図書館100周年の関連イベントとして実施いたしますが「夏休みファイナルイベント」を開催いたします。内容としては、①ちっちゃながくのおはなし会スペシャル②こわいよこわいよおはなし会③お楽しみ映写会の3本立てになっています。そしてこの日には「図書館の司書になりたい！ワークショップ」を行います。高校生と大学生が対象となっています。

9月8日には「全国俳句交流会 in 山陽小野田」を行います。そして、9月15日（日）「そらねっこ∞パフォーマンス祭り」を開催いたします。「そらねっこ」というのは、中央図書館で出会われた詩人とダンサーとピアニストが、「そらねっと」というネーミングでユニットを組んで、中央図書館で初めてパフォーマンスをするということでございます。そして9月21日には「図書館100歳！記念セレモニー」と「記念講演会」を開催する予定です。記念セレモニーにおいては、現在図書館のキャッチフレーズを募集していますけれど、そこで最優秀作品そして優秀作品を表彰したいと考えています。記念講演会については、大西暢夫さんという写真家で映画監督の方をお迎えし、「ひき石と24丁のとうふ」の演題で講演をしていただく予定となっております。【資料展示】につきましては、図書館100周年の関連で、9月6日から「本カフェ+wakayama 読書部激オシ！100冊の本」という展示を行います。本カフェというのは、図書館で毎月開催している会なのですが「wakayama 読書部」というのは市内にある wakayama で隔月に開催されている読書部の方、それぞれ50冊激オシの本を推していただいて、合計100冊の本を展示することになります。そして「おすすめ！絵本100冊（絶版絵本を中心に）」展示をする予定としています。さらに「読書バリアフリー展示会」を行います。こちらは、障がい者の方に役立つ資料・機器などを展示するものであります。

厚狭図書館《7・8月行事報告》ですが、7月26日「夏休み読書感想文教室」を開催いたしました。8月7日には「こども図書館員 ～お仕事体験～」を開催いたしました。

中央図書館からは、以上でございます。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございました。ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

盛りだくさんの行事となっていて、フルートのチケットが買えなかったのですが、たぶん若い方が沢山集まられたのかなと思うのですが、少しその様子をお話ししていただけますか。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。フルートの奏者とピアノの奏者は、いずれも高千帆中学校の卒業生で、先輩・後輩にあたる方なのですが、その方をお迎えしてのサマーコンサートでした。定員を60名としていたのですが、結局94名の参加がございました。同級生や恩師の方、そして、吹奏楽の顧問の先生が遠くから来られて、久しぶりにお会いになったということで、演奏の後、交流の場が開かれたということでした。吹奏楽部の若い現役の中学生も来られていたみたいです。多様な方が来られて、楽しまれておりました。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございます。またそのような企画がどんどん出るといいですね。若い方が集って。ありがとうございました。

他に、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは若山歴史民俗資料館長、お願いいたします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館から、5点ご報告いたします。お配りしました資料をご覧ください。

始めに、7月27日（土）に開催した、夏休みれきみん体験教室「埴輪づくり」についてです。親子合わせて26人の参加がありました。埴輪についてスライドやクイズで勉強してから1時間半で完成させました。粘土をひも状に伸ばし、輪を作り積み重ねた後、思い思いの目・鼻・手などを付けるのですが、低学年が多い中、上手く手が付かなかったりして大変四苦八苦しておりましたが、全員最後まで諦めず完成させることができました。今回は、8月25日（日）に開催いたします。

2点目です。宇部市厚南小学校の社会科の先生が、市内出身ということで、中堅教諭等資質向上研修に当館を希望され3日間来られました。2日間は学芸員の仕事等さまざまな仕事を体験してもらい、最終日には、ふるさと文化遺産等を参考にいただき、小学生を対象とした地域学習の模擬授業を行ってもらい、学芸員と教師の目線でディスカッションを行いました。大変有意義な時間となり、今後の社会科見学での対応や、出前授業に活かしたいと思いました。

3点目です。8月9日に採用歴2・3年目の教諭を対象とした、1000日プラン実践研修会が行われました。地域の教育資源について、理解を深めることを目的の1つとされており、市内の小中学校社会科部会の先生方が来館されました。館内の解説をした後に、出前授業・社会科見学・授業に使える資料、学校との連携について、意見交換を実施しました。見学に来たくても、時間の確保や手段が難しい現状があり、リモートを使って気軽に繋がれないかという提案や、どんな出前授業ができるのか知りたいといったご意見をいただきました。出前授業については、各学校にメニューをお配りしておりますが、再度学校教育課を通じて先生方に届くようにいたしました。只、歴史民俗資料館としては実際に来館をしていただき、本物の資料を見て理解を深めてもらいたいという思いがありますので、その辺りも今後の課題のひとつだと感じました。先生方と直にお話しできる大変貴重な時間となりました。

次に、現在開催中の企画展「絵葉書の魅力再発見～歴史と古写真からわかる絵葉書の世界～」についてです。今月27日（火）が最終日で、残り僅かとなりましたが、大変うれしいアンケートがありましたので、お一人分紹介させていただきます。40代の女性からです。「学校の授業の一環として来た時には分からなかったけれど、大人になってこのような場所があって、地元の歴史が知れるということは、とてもありがたいことだと思った。」といったご回答をいただいております。大変励みになりました。この他にも、さまざまご回答をいただいておりますので、企画展終了後にまとめて今後活かしたいと思っております

最後に、お配りしておりますチラシの方をご覧ください。9月27日に、市民館文化ホールで「史跡周防灘干拓遺跡 歴史講演会」を開催いたします。こちらは昨年度、教育委員会が史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画を策定しており、その中でも特に国史跡として一緒に登録されている、山口市の「名田島南蛮樋」との連携した活用を図ることとしており、この度山口市文化財保護課の河崎萌副主幹から、名田島の南蛮樋についてご講演をいただくこととなりました。また、資料館では関連する展示コーナーを10月8日まで設けます。講演会で当館学芸員から資料調査の成果について報告がありますので、併せて見ていただくとより理解が深まるようになっております。

歴史民俗資料館からは、以上です。

○竹田職務代理者

はい。ただ今のご報告に関して、ご意見ご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。
市民の方の声を聞かせていただいて、ありがとうございました。
それでは吉村学校給食センター所長、よろしくお願いいたします。

○吉村学校給食センター所長

はい。学校給食センターからご報告いたします。

9月2日から学校給食が始まりますので、夏休み中に学校給食センターの総点検をし、9月からの営業に備えているところでございます。

1点ほどご報告いたします。夏休みに実施しました「親子食育料理教室」についてご報告いたします。7月25日・8月7日の2回に学校給食センターにて11組29人の方で親子料理教室を実施いたしました。今回のテーマは「腸活」ということで「おなかの健康について」の講義と給食センターの施設見学等行いました。3班に分かれて調理実習を行い、各親子が腸に対して正しい理解と正しい食事についての勉強もすることができました。アンケート結果では、親御さんからは「給食センターのことがよく分かった。」とか「腸活の大切さ・おなかの大切さについてよく理解できた。」子どもさんからは「お母さんとお父さんと一緒に作ったことが楽しかったので、また家で作ってみたい。」などのアンケート結果をいただいております。今後も、この事業については進めていきたいと考えております。

報告は以上です。

○竹田職務代理者

はい。ありがとうございました。ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは下瀬小学校長会長、よろしくお願いいたします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会から3点ご報告いたします。

1点目は、夏季休業中の児童の活動です。7月の夏休み始まりの1週間、後半の1週間程度は、各学校とも時間を設け個別指導を実施しております。本校では、7月23日から7月26日まで実施しました。本年度は、中学生5名・高校生3名のボランティアも参加し、一緒に勉強を見てもらいました。毎日、1年生から6年生まで80名程度の児童が個別指導に来ていました。児童も「よく分かった。」「いつもよりゆっくり見てもらうことができた。」等、満足そうに話しておりました。ボランティアで参加した中高生も「分からないことを教えたり、話したりして楽しかった。」「子どもがとても可愛かった。」等、感想を話しておりました。また、花壇の手入れ・育てている植物の草抜き・水やり等の活動も各学校で行われています。当番の高学年児童は、1日10名程度来校し、花の水やり・草抜き・花の芽摘み等行っています。本年度は大変暑い夏でしたので、水分を補給しながら大変熱心に行っておりました。そして、学校図書館も5日間の開放日を設け、本の貸出を行っております。高千帆小学校では、児童や保護者合計で51名の来館があり、80冊程度の本を貸し出しました。もっと多くの児童が利用するように、PRしていきたいところです。

2点目は、パラリンピックの壮行会についてです。8月1日に、市役所においてパラリンピックの壮行会が行われ、パリのパラリンピックに出場する川本・木村両選手が来庁されておりました。市内3校、有帆小学校・高千帆小学校・出合小学校が、パラリンピックに出場する選手へ応援メッセージを書いていることから、当日は、本校から13名の児童が駆け付けました。世界で活躍する選手に間近で会い、応援メッセージを書いた国旗を手渡したことは、一生の思い出になると思っております。8

月28日から始まるパラリンピックのparaサイクリングの選手を中心に、応援をしたいと思います。

3点目は、2学期の準備についてです。あと10日程で、2学期がスタートします。2学期中の行事や活動の打ち合わせ、関係機関の協議・下見などを行い備えております。また2学期始めに、登校渋り或いは生活習慣が取り戻せない児童等、気になる児童への声掛け、保護者との連携を事前に行うようにしております。また、学校環境の整備も今週の週休日を中心に行われています。2学期は78日間、宿泊学習・修学旅行等の多くの行事もあり地域との連携活動、さまざまな教育活動を予定しています。児童にとって魅力ある学校にするため工夫して教育活動を行い、実り多い2学期になることを期待して準備を行っております。校長会の話し合い、各校長と相談しながら実施を進めていきたいと思っています。

以上、小学校長会からの報告でした。

○竹田職務代理者

はい。ただ今のご報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○竹田職務代理者

はい。河村委員、どうぞ。

○河村委員

今、尋常ではない暑さが続いているのですが、学校の暑熱に対する環境は全部整っているのですか。

○下瀬小学校長会長

はい。一部特別教室には、エアコンが入っておりません。ただし、普通教室・音楽室・図書室は完備がされております。ごく一部の特別教室は、エアコンがまだです。

○河村委員

それは、何か理由があるのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

学校の施設管理は、教育総務課が行っておりますが、予算的な面でということもあります。費用的に限られた予算の中で、優先順位の高い教室から整備している状況であります。ただ、必要であると思っておりますので、予算獲得に向けて努力したいと考えております。

○竹田職務代理者

よろしいですか。

○竹田職務代理者

それでは安田中学校長会長、よろしく願いいたします。

○安田中学校長会長

はい。夏休みは大変暑い日が続いております。部活動については、熱中症対策を行いながら進めているところです。中学校からは2点、ご報告を申し上げます。

1点目は、中学校選手権大会についてです。中国中学校選手権大会は、厚狭中学校が野球部。高千帆中学校が卓球部女子個人、陸上競技個人女子・4種競技。小野田中学校は、相撲個人、陸上競技が個人3年生女子100メートル、共通女子200メートルに出場しました。また全国中学校選手権大会は、小野田中学校陸上競技個人3年生女子100メートルに出場しました。どの学校も、大変頑張ったと聞いてはおりますが、上位進出はできなかったというところです。

2点目については、夏休みの生徒の活動についてです。先程小学校でもありましたが、中学校も高

校生の支援を受けて、補習学習を実施しました。高校生の支援が中学生にとっては大変ありがたく、年も近いということもありまして、子どもたちも話をしながら補習をしていました。

そして8月5日は「中学生市議会」が市議会議場で開催されました。参加した中学生は、街づくりに関心を持つとともに、主権者教育の貴重な体験の場となりました。多くの方々にご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

これから夏休みは終盤となります。埴生・厚陽中学校以外の4校は、運動会に向けて応援リーダーの研修や、応援企画・練習を実施しています。この暑い中でも、リーダーとしての自覚を持ち、とても頑張っているところです。このリーダーたちの意欲や主体性を活かした活力のある2学期がスタート出来ればと思っております。

中学校からは以上です。

○竹田職務代理者

ありがとうございます。ただ今のご報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

中学校の選手権大会ですが、やはり尋常でない暑さが続いています。高校野球でも朝と夕方にしようと言うぐらい配慮されているのですが、時間帯等何か暑熱対策に対して考慮された大会はありますか。

○安田中学校長会長

全ての種目は見ておりませんが、本校の場合は、陸上の方に出場したのですが、トラック自体が大変熱くなっているので、子どもたちにその辺り緩和するための水を撒く等、そのような部分は拝見いたしました。全体的にどうだったかは全ての事までは把握できていない状態です。

○河村委員

熱中症になったとか、搬送されたというような事例はないですか。

○安田中学校長会長

市内については「競技の中では」というのは、聞いておりません。学校での練習の中で少し体調が悪くなって救急車を呼んだ事は、本校自体もそのような事がありました。

○河村委員

私が思うに、大会の時期や開催する時間帯についても少しは検討していただきたいなど。事故が起こった後ではいけないので。

○安田中学校長会長

そうですね。暑さが変わっておりますので、それは検討事項だと思っております。

○河村委員

はい。お願いします。

○竹田職務代理者

はい。よろしいでしょうか。それでは、以上で報告を終わりたいと思います。

次回の会議日程

○竹田職務代理者

それでは（２）その他にはいります。

次回会議日程について、次長よりよろしく申し上げます。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の会議日程についてお諮りいたします。事務局案といたしましては、９月２６日（木）１４時から、山陽小野田市役所第２別館２階こちらの会議室での開催をお諮りいたします。よろしくお願ひいたします。

○竹田職務代理者

はい。皆様よろしいでしょうか。

（「はい。」という声あり。）

それでは９月２６日（木）１４時からということでお願ひします。

それでは、前半を終了したいと思います。どうもお疲れ様でございました。

14時53分休憩

14時55分再開

議案第19号 中学校において令和7年度から使用する全ての教科用図書の採択について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

報告第10号 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について（概要）

○竹田職務代理者

次に、報告第10号「令和6年度全国学力・学習状況調査結果について（概要）」事務局よりご説明をお願いします。

○山本学校教育課長

はい。報告第10号について、ご報告します。お手元の資料をご覧ください。4月18日に実施した全国学力・学習状況調査についてです。今年度は、小学校は国語と算数。中学校は、国語と数学で実施されました。調査結果を見ますと全体の傾向としては、小学校の平均正答率は、国語・算数とも全国平均を上回りました。中学校は、国語はやや下回り、数学はやや上回りましたが、概ね全国と同程度の結果となりました。少し詳細に目を向けますと「知識・技能」が高い傾向であることから、基礎的・基本的な力が付いていると推測されます。これは、毎朝実施しているモジュール学習による成果と考えられます。また小学校国語で「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」が高いことから、

算数の「データの活用」が高いことへと繋がっているのではないかと推測されます。

次に、裏面の生活習慣や学習環境等に関する質問調査では、「夢や目標をもつこと。」「人の役に立つ人間になりたい。」「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい。」等の項目が高く、将来の目標を持ち主体的に学んでいることが分かります。また小学校・中学校とも、児童生徒と教師との良好な人間関係が築かれていることも分かります。半面、課題に目を向けますと、基本的な生活習慣やメディアコントロール不足があります。このようなことを踏まえ、次の4点に特に力を入れて今後の教育活動を展開していきたいと考えています。

1点目は、一昨年度から継続している「見通し・実行・振り返り」のサイクルを通して、児童生徒の主体性や当事者意識の醸成を図ること。

2点目は、児童生徒の習熟度に応じた学習や、1人1台端末を活用した単元・授業づくりを推進すること。

3点目は、モジュール学習の内容の充実を図ること。

4点目は、家庭や地域と連携し、健康に関する基礎的な知識を身に付け、規則正しい生活習慣の確立を促すことです。これまでの取組の成果が表れつつあります。今後とも成果が上がった取組は、徹底しながらも新たな課題を改善する、有効な手立てを講じてまいりたいと思います。

以上で報告を終わります。

○竹田職務代理者

はい。ただ今のご報告に関して、ご意見ご質問などございましたらお願いいたします。

○河村委員

質問です。

○竹田職務代理者

はい。河村委員、どうぞ。

○河村委員

はい。5ページの「課題の見られる状況」質問調査なのですが、小学校のところで「毎朝、同じくらの時刻に起きている。」というのは、毎朝同じ時間に起きているというのは、良いことなのではないですか。

○山本学校教育課長

その評価が低いということです。起きている子が、少ないというところですか。

○河村委員

バラバラということですか。

○山本学校教育課長

はい。バラバラです。この項目が、低いという見解です。

○河村委員

具体的にどのようなことでしょうか。遅刻をする生徒がいるのでしょうか。

○山本学校教育課長

朝ご飯を食べてこないような子も一定数いるという状態ですね。

○河村委員

はい。

○末永委員

はい。

○竹田職務代理者

はい。末永委員。

○末永委員

確認なのですが、この学力・学習状況調査は記述ですか。ICT活用ではなかったですか。

○山本学校教育課長

はい。この度は、記述です。

○末永委員

記述ですか。昨年の結果だったと思いますが、無回答という欄があって、保護者としては無回答というのがすごく気になっていて。無回答には主に2つぐらい理由があると思っていて「分からないから書かない」か「書く気力がない」というのがあるのかなと思うのですが、その両者とも無回答という回答ではなくて、何かしら書いてほしいな、チャレンジしてほしいな、と一保護者としていつも思うので、無回答が少なくなっているとうれしいなと感じました。

○山本学校教育課長

はい。全国の分析からすると、今年度は、無回答の割合がかなり下がったということでありまして。本市はそこまで分析できていない状況ですが、傾向としては同じだろうと思っておりますし、書くことにも抵抗が無くなっているという成果が出ていますので、おそらく書けていると思っています。

○末永委員

はい。ありがとうございます。

○竹田職務代理者

その他ございませんか。はい、河村委員。

○河村委員

こちらは短期ですよ。今の状態はどうなっているのか、ということだと思っておりますが、中長期的に5年・10年スパンで評価されることはあるのですか。

○山本学校教育課長

こちらは、平成27年ぐらいから始まったと思いますので、継続的なデータがあります。山陽小野田市は、これまで全国平均と比較すると低かったということで、算数・国語とも小学校が上回ったのは、恐らく久しぶりではないかと思っていますし、中学校も同程度であるということは、本市の取組の成果が表れていると思います。

○河村委員

単年度のご報告も必要でしょうが、中長期的にもこのような傾向があるということをご報告や結果を公表した方がいいように思います。その原因についても検討してみられてはいかがでしょうか。

○山本学校教育課長

今年度成果が出ているところから、成果が出た要因をしっかりと分析したいと考えております。

○竹田職務代理者

私から生活改善についてですが、色々な関係機関と連携して、と書かれていますが、是非こちらに社会教育課が進めている家庭教育支援チームの存在を大いに活用していただいて、就学時健診の際の子育て講座でも、保護者の方々に色々なことをアドバイスする立場にある人たちですので、是非活用していただければと思います。

○山本学校教育課長

はい。是非とも活用させていただきたいと思います。

○竹田職務代理者

よろしくお願いいたします。

他にございませんか。それでは、採決させていただきます。報告第10号「令和6年度学力・学習状況調査結果について（概要）」をご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございます。全員賛成ということで、承認されました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○竹田職務代理者

次に（3）その他になります。何かございますか。よろしいですか。

（「ありません」の声あり）

閉 会

○竹田職務代理者

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

15時52分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和6年 8月 22日

教育長職務代理者 印

署名委員 印

署名委員 印

会議録を調製した職員 印